（参考例）

（記載上の留意点等、一応の目安です。必要な情報が記載されていれば、必ずしもここに示したフォーマットに従う必要はありません。）

業 　績 　目　 録

豊 中 三 郎

Ａ．学術論文（学協会誌に掲載された原著論文）

Ｂ．解説・総説

Ｃ．国際会議論文（国際会議のproceedings に掲載された論文）

Ｄ．著書

Ｅ．外部資金獲得実績

Ｆ．特許・知財等の実績

Ｇ．特記事項等

の順番に掲載する。

|  |
| --- |
| 記載にあたっての一般的注意事項1.出版済みのもののみ記載する。2.受理済みのものは、「印刷中 / in press」として加えることができる。3.投稿中（申請中）のものは不可。4.発表年の新しい順に通し番号をつけて記載する。5.著者名は全員記入する。6.該当著者を下線で表示する。7.論文タイトル等を付すこと。 |

Ａ．学術論文

1.Creation of Quasi-Stable Lattice Defects by Electronic Excitation in SiO2

S. Toyonaka, T. Suita, and U. Takatsuki

Phys. Rev. Lett. 51(1983)423-426.

Ｂ．解説・総説

1.無機非金属における光化学反応

高槻裕子、豊中三郎

放射線化学、40(1985)18-25.

記載にあたっての留意点

・（学術論文の場合と同じ。）

Ｃ．国際会議論文

1.Self-Trapped Excitons in Amorphous and Crystalline SiO2

T. Suita, S.Toyonaka, and U. Takatsuki

Proceedings of the International Conference on The Physics and Technology of

Amorphous SiO2, (Prenum, New York, 1988), 135-141.

記載にあたっての留意点

・国際会議名を明記する。

・Proceedings の出版社、印刷所の場所、印刷年を明記する。

・Abstract 集(Extended abstract も含む)は不可。

Ｄ．著書

1.Structure and Imperfections in Amorphous and Crystalline Silicon Dioxide

S. Toyonaka, T. Suita, and U. Takatsuki

(John Wiley and Sons, LTD, New York, 2000)

記載にあたっての留意点

・出版社、出版都市名、出版年を明記する。

・分担執筆の場合は、該当する部分（章、節など）を明記する。

・翻訳書は著書には入れない。

Ｅ．外部資金獲得実績

Ｆ．特許・知財関連の実績

Ｇ．特記事項等